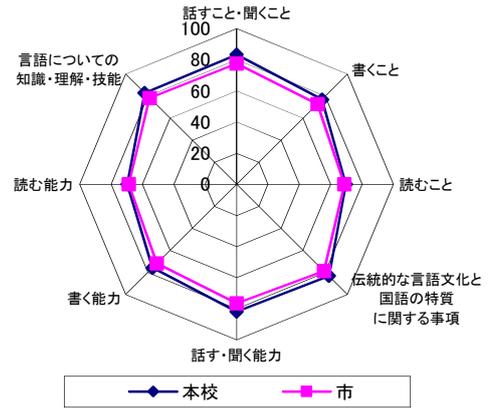


宇都宮市立旭中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

	本年度			
	本校	市	参考値	
領域別	話すこと・聞くこと	83.4	77.6	76.3
	書くこと	77.1	73.0	56.1
	読むこと	69.7	68.8	63.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	83.3	78.8	71.6
観点別	話す・聞く能力	81.7	76.5	75.4
	書く能力	75.8	72.0	58.1
	読む能力	69.7	68.8	63.9
	言語についての知識・理解・技能	82.9	78.4	70.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

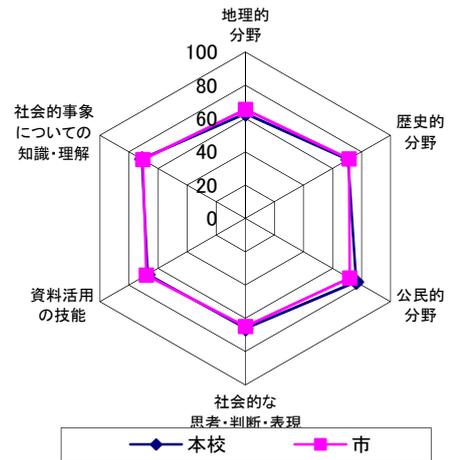
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○市の平均正答率と比べて、5.8ポイント高い結果が得られた。</p> <p>○話し合いの中で、適切な質問をする問の正答率が、市の平均と比べて8.2ポイント高い。話題の方向を捉えて必要な情報を引き出そうとする力が高い。</p> <p>●話し方の工夫を捉える問の正答率が、市の平均と比べて、2.9ポイント上回るに留まった。話す技能を客観的に把握する力に課題がある。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問を考えながら聞く技能を育む学習活動を行い、目的意識を持って聞く態度を育成する。 ・身につけた話し合いの技能を、意図的に活用して話し合う学習活動を展開する。
書くこと	<p>○市の平均正答率と比べて、4.1ポイント高い結果が得られた。</p> <p>○文字数の指定を守って文章を書く問の正答率が、市の平均と比べて、6.2ポイント高い。無答率が低く、書いて表現しようとする意欲の高さが伺える。</p> <p>●自分の立場を明確にして文章を書く問の正答率が、市の平均と比べて、1.7ポイント上回るに留まった。表現や構成を工夫して自分の主張を書き表す技能に課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書いて表現する機会を極力多く設け、言語活動の充実を図る。 ・主張を明確に伝えるための表現や構成の工夫を用いて、文章を書く学習活動を行う。
読むこと	<p>○市の平均正答率と比べて、0.9ポイント高い結果が得られた。</p> <p>○広告の情報を表に整理する問の正答率が、市の平均と比べて、6.6ポイント高い。非連続型テキストから適切に情報を取り出す能力が高い。</p> <p>●登場人物の心情を捉える問の正答率が、市の平均と比べて、2.0ポイント下回っている。表現に込められた象徴的な意味を捉える力に課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフやイラストなどの図表から読み取ったことを基に、自分の考えを広げる学習活動を行う。 ・人物の描写や発言、情景描写に、心情が写し取られることを確認し、実際の文学作品の中で読み深める学習活動を行う。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○市の平均正答率と比べて、4.5ポイント高い結果が得られた。</p> <p>○漢字の読みを答える問の正答率が、市の平均と比べて、12.3ポイント高い。「脈絡(みやくらく)」は、73%の生徒が正解した。</p> <p>●敬語の正しい理解に関わる問の正答率が、市の平均と比べて、2.6ポイント上回るに留まった。謙譲語と尊敬語の区別に課題がある生徒が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な漢字の技能を高めるために、日常的な漢字指導を充実させる。 ・実際の文脈の中で敬語がどのように使われているかを收拾し分析する学習活動を行う。

宇都宮市立旭中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	62.9	65.4	52.7
	歴史的分野	70.6	71.3	64.1
	公民的分野	76.2	71.8	68.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	66.2	64.9	53.5
	資料活用の技能	67.2	68.0	57.3
	社会的事象についての知識・理解	71.3	70.6	64.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

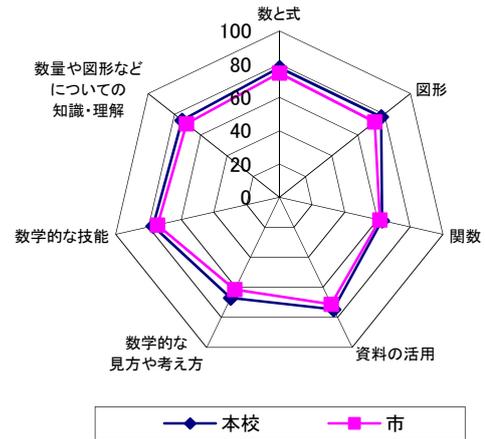
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	●市の平均正答率と比べ、2.5ポイント下回っている。特に世界と比べた日本の地域的特色に関する問題の正答率が、市と比べ低い正答率となった。技能や、思考・判断・表現に関する問題が特に正答率が低い。	・論述の問題や資料の読み取りに関する問題を解かせ、対応していく。 ・扇状地と三角州など、間違えやすい地形に関するもよく復習し、整理できるようにする。
歴史的分野	●市の平均正答率と比べ、0.7ポイント低い結果となった。特に幕末～明治時代初期にかけての年代の問題の正答率が低く、この年代の知識が定着していないことが予想される。 ○古代に関する問題は、概ね市の平均正答率を上回っている。	・時代によって知識の定着度が違うので、分析をもとに正答率の低い年代(特に幕末～明治時代初期)を中心に復習をしていく。
公民的分野	○市の平均正答率と比べ、4.4ポイント高い結果となった。ほぼすべての問題で市の平均正答率を上回っており、特に議院内閣制に関する問題では市の平均正答率を17ポイント上回っている。 ●地方自治の直接請求権に関する問題で、市の平均正答率をやや下回った。	・地方自治の仕組みに関する内容の復習を行い、知識の定着化を図る。

宇都宮市立旭中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	77.9	74.7	72.4
	図形	77.5	72.7	62.3
	関数	62.9	61.3	52.1
	資料の活用	74.6	71.3	55.6
観点別	数学的な見方や考え方	66.9	61.4	45.2
	数学的な技能	77.3	74.6	69.7
	数量や図形などについての知識・理解	74.3	70.8	61.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

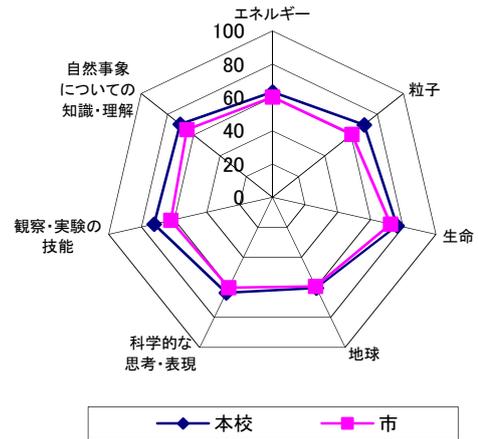
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	<ul style="list-style-type: none"> ○正答率は、市平均と比べて3.2ポイント高い。 ○特に方程式、連立方程式に関する問題の正答率が、市平均よりも高い。 ●因数分解をする問題の正答率が、市平均より0.5ポイント低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法公式を利用した因数分解の仕方を確実に定着させるために、既習事項を再確認する時間を設けたり、反復練習をさせたりする。
図形	<ul style="list-style-type: none"> ○正答率は、市平均と比べて4.8ポイント高い。 ○三角形の合同を証明する問題の正答率が、市平均よりも12.3ポイント高い。 ●垂線を作図する問題の正答率が、市平均より1.0ポイント低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作図の仕方を確実に定着させるために、平面図形の性質について再確認する時間を設ける。 ・平面図形や空間図形の性質等をさらに理解させるために、様々な角度から見て、読み取ることができるよう、指導を工夫していく。
関数	<ul style="list-style-type: none"> ○正答率は、市平均と比べて1.6ポイント高い。 ○グラフ上の点の座標を求める問題の正答率が、市平均よりも6.4ポイント高い。 ●yの変域を求める問題の正答率が、市平均よりも3.1ポイント低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の概念を再確認し、ともなって変化する数について理解できるようにする。そこから式を求めたり、式からx, yのどちらか一方がわかっているときの他方の値を求めたりすることができるよう、既習事項を再確認する時間を設けたり、反復練習をさせたりする。またyの変域については、式だけではなく、グラフとの関係を見ながら考えられるよう、指導を工夫していく。
資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○正答率は、市平均と比べて3.3ポイント高い。 ○度数分布表から相対度数を求める問題の正答率が、市平均よりも9.2ポイント高い。 ●平均値について理解しているか問う問題の正答率が、市平均よりも0.1ポイント低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた資料の代表値の意味を理解したり、求めたりすることなど、基本的な事柄を確実に定着させるために、既習事項を再確認する時間を設けたり、反復練習をさせたりする。また資料の傾向を読み取ることの良さを実感させるよう、指導を工夫していく。

宇都宮市立旭中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	63.3	60.2	57.6
	粒子	69.9	60.6	55.1
	生命	76.1	72.3	63.6
	地球	60.5	59.3	50.4
観点別	科学的な思考・表現	63.6	60.2	57.3
	観察・実験の技能	72.3	62.1	57.5
	自然事象についての知識・理解	70.4	65.2	57.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

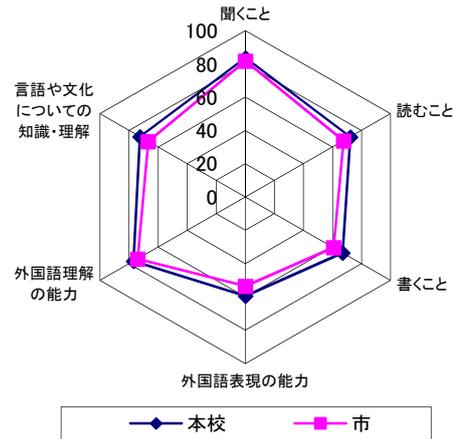
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	● エネルギーについては目に見えない事もあり、なかなかイメージとして捉えづらい。実験やモデルを使って視覚化を計ったがなかなか定着しなかった。	・生徒が理解できないところを反復し復習することで理解を促した。
粒子	● 似通った内容が多いため生徒たちは大まかな内容を知るとわかった気になってしまうことが多く、正確な理解がなされなかった。	・もう一度内容を確認し理解が深まるよう反復練習をすることによって理解をより深めた。
生命	● 煩雑な内容をしっかり覚えていない生徒が多く、ひとつひとつの知識の精度が低かった。	・もう一度内容を確認し理解が深まるよう反復練習をすることによって理解をより深めた。
地球	● 飽和水蒸気量などイメージしにくい内容も多く、丸暗記ではなかなか正解に結びつかない。	よりわかりやすくスモールステップを用意し、つまづきにくい内容をひとつひとつ教え、正確な知識理解に努めた。

宇都宮市立旭中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	83.7	81.7	75.3
	読むこと	72.4	67.7	62.9
	書くこと	66.9	60.7	52.8
観点別	外国語表現の能力	59.4	53.5	44.8
	外国語理解の能力	77.0	74.2	67.8
	言語や文化についての知識・理解	72.6	66.8	63.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	<p>○英語を聞くことについては、市の平均を2.0ポイント上回っている。</p> <p>●資料を見ながら対話を聞いて最後の台詞を英語で書かせる問題の正答率が20.5%と全問中最も低く、市の平均より3.9ポイント低い。(市全体を見ても最も正答率が低かった問題である。)</p>	<p>・対話の内容を聞き取って理解するのみならず、対話の最後の台詞を想像させて英語で書かせる活動を取り入れていきたい。</p> <p>・様々な種類の資料を見ながら、対話の内容を聞き取り、適切な対応ができるようにするための活動を数多く行うことで力をつけさせたい。</p>
読むこと	<p>○英語の長文を読む問題で、内容や概要を把握する力は、市のポイントよりも4.7ポイント高い。</p> <p>●代名詞の内容を把握する問題の正答率が、市の平均よりもわずかに低い。</p>	<p>・長文読解において概要を把握する活動を中心に据えて取り組ませてきた一定の成果が出ている。加えて、今まで以上により詳細について理解を図るノート指導をしていく。</p> <p>・長文を読み進めていく際に、指示代名詞が具体的に何を指しているか確認しながら読むことを、さらに意識させていきたい。</p>
書くこと	<p>○「まとまった内容で説明する英文を書く → 対話の流れに合った英文を書く → 単語を正しく書く」という順に正答率が高く、市の平均より6.2ポイント高い。</p> <p>●英文を正しい語順に並べる問題で、目的語が2つある場合の正答率があまり高くはない。</p>	<p>・まとまった内容で説明する英文を書かせることを重点的に指導した一定の成果が出ているので継続する。</p> <p>・授業の中で目的語が人と物では人が優先されること、物が先に来た場合は後方の人の前に決まった前置詞が入ることを、口頭練習・練習問題等のドリルを行って定着させたい。</p>